

近年、詩人四國五郎の再評価が進んでいる。シベリア抑留を経験し、その間に原爆で弟を失った四國五郎は、故郷広島に帰還したのち、峠三吉らと反戦文化運動に詩人として身を投じ、『原爆詩集』の表紙絵・挿絵、街頭に展示される辻詩の絵画部分、数々のサークル誌の表紙絵・挿絵などを描き続けた。市民のなかで市民のために描き続けた四國五郎は、反戦平和を主題とする作品を描き続ける一方、1974年に広島で「市民が描いた原爆の絵」を集める運動が始まった際には、市民に自らの被爆体験を描く方法を示唆する役割を果たし、その高揚を支えた。最近では、シベリア抑留体験に基づく絵日記（『わが青春の記録』）が復刻され、シベリア抑留体験を描いた後年の作品が注目を集めてもいる。

画文集『広島百橋』の著者でもある四國五郎は、広島では広く親しまれている存在ではあるものの、全国的には『絵本 おこりじぞう』の画家として記憶されているにとどまるかもしれない。しかし、シベリア抑留体験や被爆体験を描いた画家として、また、詩と絵画をもって深く社会運動と関わった詩人として、さらには市民のなかで市民のために描き続けた画家として、急速に再評価が進んでいる。そのような四國五郎に対する関心は、故郷広島はもちろんのこと、東京などでも高まっているが、残念ながら関西での反応は弱く、作品に触れる機会も少ない。

そこで、四國五郎の再評価を担ってきた研究者の研究成果を結集するカタチで、関西初の四國五郎展を開催し、四國五郎再評価の動向を集大成する機会としたい。

展覧会構成と主な展示作品

第1章 シベリア抑留体験と表現

ナホトカ人物スケッチ (1947～48年 鉛筆、紙)
わが青春の記録 (1949～1950年 冊子)
フルムリ地区107分所1946年2月伐採作業 (1997年 油彩、キャンバス)

第2章 被爆地ヒロシマの反戦文化運動

辻詩 なぜに (1950年頃 コラージュ、紙)
われらの詩 (1949～53年 冊子)
峠三吉像 (1977年 油彩、キャンバス)

第3章 反戦平和のために

鳩と少女 (1963年 油彩、キャンバス)
ヴェトナムの母子 (1965年 油彩、キャンバス)
黒い雨 (1984年 油彩、キャンバス)

第4章 被爆体験を描く／ひろしまを描く

絵本 おこりじぞう 原画 (1979年)
相生橋 (1984年 油彩、キャンバス)
自画像 (1967年 油彩、板)



●ナホトカ人物スケッチ



●辻詩 巷にて



●峠三吉像



●署名



●ヴェトナムの母子

関連企画

◆国際シンポジウム 詩人四國五郎の歩んだ道 ～シベリアからヒロシマへ～

日時: 2019年5月19日(日) 13時～16時30分 会場: 大阪大学会館 アセンブリーホール 使用言語: 日本語
登壇者: アン・シェリフ (オーバリン大学教授) / 川口 隆行 (広島大学准教授) / 岡村 幸宣 (原爆の国丸木美術館学芸員) / 小沢 節子 (近現代史研究者)

入場無料、事前申込不要 (先着順) ※シンポジウム当日は、総合学術博物館 待兼山修学館が臨時開館いたしますので、展示をご覧いただくことができます。
なお、シンポジウムは、総合学術博物館 待兼山修学館から徒歩5分の大阪大学会館で開催されますので、ご注意ください。

◆講演と朗読 四國五郎と『絵本 おこりじぞう』

日時: 2019年6月22日(土) 14時～15時30分 **入場無料**
会場: 豊中市立文化芸術センター多目的室
〒561-0802 豊中市曾根東町3-7-2 Tel.06-6864-5000 (10:00～19:00)
阪急電鉄宝塚線・曾根駅より徒歩約5分

内容: 講演「四國五郎と峠三吉」宇野田 尚哉 (大阪大学教授)
朗読「おこりじぞう」木内 みどり (俳優)
対談「四國五郎を語る」
木内 みどり×四國 光 (四國五郎・長男)



木内 みどり

応募方法

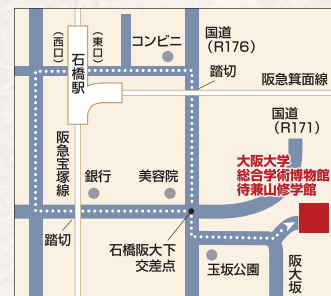
電子メールもしくは往復ハガキにてお申し込み願います。
複数名でお申し込みの場合、同伴者全員の情報をご記入ください。
応募者多数の場合は抽選を行います。
応募締切: 6月5日(水) 必着

《電子メール》 豊中市ホームページよりお申し込みください。

《往復ハガキ》 往信面に住所、氏名、連絡が取りやすい電話番号または携帯番号、年齢を、返信宛名面に住所・氏名を明記の上、下記までお送りください。

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1 豊中市都市活力部文化芸術課 四國五郎展係

※「講演と朗読 四國五郎と『絵本 おこりじぞう』」についてのお問い合わせ
豊中市都市活力部文化芸術課 Tel.06-6858-2551



大阪大学総合学術博物館
待兼山修学館
Museum of Osaka University

〒560-0043 豊中市待兼山町1-20 Tel.06-6850-6284
<https://www.museum.osaka-u.ac.jp/>

●阪急電鉄宝塚線・石橋駅より 徒歩約10分

●大阪モノレール・柴原駅より 徒歩約20分

※公共交通機関をご利用ください。